

# リハビリ通信

第14号  
令和2年10月1日  
リハビリ通信担当発行

## 1. 季節の行事（七夕）

当院では患者さんに対して季節を感じることや意欲向上、作業を通した身体機能訓練などを目的として、季節の行事を訓練の一環として行っています。

7月には七夕にちなんで患者さんに短冊の飾りつけをしていただきました。リハビリテーション室前に飾り付け用の笹と短冊を設置し、自由に願い事を記入して飾ることができるようにしました。多くの方々が飾ってくださり、無事に退院できることをお願いされる方や家族の健康や成功を願う方、世界の平和を祈る方など、色々な



短冊が飾られていました。  
リハビリテーション室まで来られない方々にも短冊を書いてもらい、飾らせていただきました。



短冊を書いているときや飾り付けをしているときの顔はとても明るく、スタッフも元気をもらいました。皆さんの願いが叶うことをお祈りします。

## 2. リハ科内研修

7・8月では新人・若手スタッフを対象に、移乗介助・救急対応・感染防止策の研修をリハ科内で行いました。多くのスタッフが参加し、先輩スタッフからテクニックのコツや対応のポイントについて熱心に学んでいる様子が見られました。実技の練習ではスタッフ間で意見を交換してどうしたらうまくできるか考えており、なかには他の病院



で培った経験を伝えている様子も見られました。当院では若手スタッフが  
多い中、他の病院から異動や転職で来たスタッフも在籍して  
います。独自のルールなどに凝り固まることなく、新しい風が入る  
ことで知識をさらに高め、かつ、その知識を後輩へ伝えていくとい  
う循環があることは国立病院機構の強みであると感じています。

### 3. 宇都宮農園

夏から秋にかけて、宇都宮農園に実りの季節がやってきました。  
今年は梅雨が長引き、日照時間が少なかったために作物が育つか心  
配していましたが、キュウリ・白オクラ・ミニトマトなどが無事に  
収穫できました。また、朝顔やハイビスカスは夏の猛暑に負けず大  
きな花を咲かせていました。患者さんにも収穫をしていただき、大



きな作物を手に笑顔を見せる様子が見られました。

#### 4. 表彰（院内）

院内表彰で、昨年度の感染対策委員会での取り組みに対して委員長賞、同じく医療安全対策委員会の取り組みに対して看護部長賞をいただきました。安全な医療を提供するために、日ごろの業務から各



スタッフが意識を高くして取り組んでおり、その結果としてこのような賞をいただきました。今後もより一層気を引き締めて取り組んでいきたいと思えます。

#### 5. リハビリテーション室からの風景

7月



左：羽黒山(前)と高原山(後)



右：笠をかぶった筑波山



裏庭の芝生アート  
「ありがとう♡」  
「かんしゃ」  
左奥は笑顔と♡

8月



左：豪雨で折れてしまったヤシの木 右：日光方面の局地的豪雨



左：作業療法室から見えた虹、右側にももう一本あります  
右：屋上から見た夕焼け

9月



左：雲を被った筑波山



右：羽黒山と高原山



左：那須連峰



右：烏山方面に出た虹

今年は梅雨が長く、雨の多い日が続くと思ったら、40度を超える猛暑日があるなど、変化が多い夏でした。これから秋となり寒くなっていく時期となりました。インフルエンザなどの流行にも注意が必要な時期です。体調管理に気を付けて過ごしていきましょう。